

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年09月06日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000093"/>	整理番号 <input type="text" value="11374"/>	担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>
表 題	<input type="text" value="汎用型高速向流クロマトグラフ装置"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="クロマトグラフ装置"/>		
目 的	<input type="text" value="物質の分離・精製の操作において、分配係数の近い物質どうしの分離、従来の充填剤を用いるカラムクロマトグラフィーで吸着・変性してしまう物質の分離を、煩雑な手法を使用することなく有機溶媒-水系二相溶媒から水性二相溶媒まで極性の異なる二相溶媒系を用いて行うことのできる液?液分配クロマトグラフ装置を提供する。"/>		
技術概要	<input type="text" value="テフロンチューブを円筒状ホルダーにコイル状に巻き付けて作製したコイルチューブドラム(カラム)が、自転しながら公転するという惑星運動を行って生じる遠心力場で物質の分離を行う。本装置の特徴は、隣接するカラムどうしが互いに逆方向に自転する2対計4つのカラムが公転軸から一定の距離の位置に均等配置されていることである。2対の4つのカラムのうち、公転方向に対して順方向に自転するカラム2つを直列に連結すると、有機溶媒?水系二相溶媒での分離が可能であるのに対し、逆方向に自転するカラム2つを直列に連結すると、水性二相溶媒での分離が可能であり、本装置1台で、疎水性の高い物質から親水性の高い物質の分離まで対応することができる。有機溶媒-水系二相溶媒では、天然由来の生理活性物質や有機合成物質、水性二相溶媒では、タンパク質、糖類などの生体内高分子水溶性物質の効率のよい分離が期待できる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp